

服用に際して、この添付文書を必ずお読みください
また必要なときに読めるよう大切に保管してください
使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

ホルモンバランスの乱れからくる症状に



販売名:女性薬 命の母ホワイト

女性保健薬 第2類医薬品

製品特徴

生理、妊娠、出産などで女性ホルモンや自律神経のアンバランスによって起こる症状を改善するお薬です

11種類の生薬が血行を促し体を温めることで生理時の痛み(生理痛)や頭痛、腰痛やイライラなどの心身不調や生理不順、冷え症などを改善していきます

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)
授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳をさけること

👤 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1)医師の治療を受けている人
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人
(3)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
(4)体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)
(5)胃腸が弱く下痢しやすい人
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ
消化器	胃部不快感、食欲不振、吐き気、便秘、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
- しばらく服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

月経痛、月経不順、ヒステリー、腰痛、頭痛、貧血、冷え症、血の道症^{注1)}、肩こり、めまい、動悸、こしけ^{注2)}

注1)「血の道症」とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである

注2)「こしけ」とは、おりもののことである

(裏面につづく)

用法・用量

1回4錠、1日3回毎食後に水又はお湯で服用してください

＜用法・用量に関連する注意＞

- (1)定められた用法・用量を厳守すること
- (2)吸湿しやすいため、服用のつどキャップをしっかりとしめること
- 15才未満は服用しないこと

成分・分量 1日量(12錠)中

トウキ末	300mg	センキュウ末	200mg	シャクヤク末	300mg
ブクリョウ末	200mg	ソウジュツ末	200mg	タクシャ末	150mg
ケイヒ末	200mg	ボタンピ末	200mg	ダイオウ末	200mg
トウニン末	100mg	ニンジン末	50mg		

添加物として、ケイ酸Al、タルク、炭酸Ca、酸化チタン、ゼラチン、アラビアゴム、白糖、ミツロウ、カルナウバロウを含有する

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること
- (2)小児の手の届かない所に保管すること
- (3)他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）
- (4)本剤をぬれた手で扱わないこと
- (5)容器の中の詰め物は輸送時の破損防止用なので開封時に捨てること
- (6)乾燥剤は服用しないこと

大地が育んだ11種類の生薬を細かく砕き、粉末にしたものを錠剤にしました

トウキ 当帰  昔から 婦人病の 要薬として 用いられている。 セリ科に属する	センキュウ 川芎  日本産を主と したセリ科の センキュウの 根茎。 婦人薬に古くから 使用されている	シャクヤク 芍薬  ボタン科の 多年草である シャクヤクの根。 婦人薬に広く使用されている	ブクリョウ 茯苓  サルノコシカケ科のマツホド。 漢方の要薬で、多くの処方に 使用されている
ソウジュツ 蒼朮  中国大陸に 分布するキク 科の多年草であるホソバオ ケラの根茎。精油を含み、 特有のにおいがある	タクシャ 沢瀉  アジア東部に 産するオモダ カ科のサジオモダカの塊茎	ケイヒ 桂皮  主に中国南部、 ベトナム、タイ などに産するも のでクスノキ科 のニッケイ類の樹皮	ボタンピ 牡丹皮  ボタン科の落葉性低木であ るボタンの根皮。中国西北 部を原産地とする
ダイオウ 大黄  中国、日本を 産地とする タデ科の大黄類 の根茎を乾燥したもの	トウニン 桃仁  主に中国山 東、山西、河 北などに産 するバラ科のモモの種子	ニンジン 人参  中国や韓国の原 産でウコギ科の 多年草、オタネニ ンジンの根。成分のサ ポニン配糖体は、最近 世界各国でその薬効が再認識され、 科学的な裏づけがなされつつある	※生薬のイラストは イメージです

製品のお問合せは、お買い求めのお店又はお客様相談室にお願いいたします

発売元 **小林製薬株式会社**
〒541-0045 大阪府中央区道修町4-4-10

小林製薬 お客様相談室
0120-5884-01
9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

製造販売元 **小林製薬株式会社**
〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-30-3